

自由の鐘が鳴らされ続けていた旧制三高で

青春を送ったある高校生は、マルクス主義

へ傾倒し党生活に入るが挫折。

やっと就職しても、左遷同様に中堅

のスプリング企業へ。ところがそこ

でいち早くアメリカ進出のチャン

スをつかみ、現地法人の社長と

して活躍……。

一段一段人生を知って

きた。先を急いではな

らない。この一段を

かみしめてこそ人

生。と彼は言う。

この一段をか

みしめてこそ人

生。長い階段を

登ってきた。一段

ごとに愛に出会い、

一段ごとに愛を失っ

た。

それはまた、2・26

事件、三高での配属将校殿

打事件、ゾルゲ事件など、大

正・昭和史の目撃者ともいうべ

き生々しい一段一段でもある。

今年八十六歳を迎えた元共産党活動員

にして会社社長の安達明氏による、

生きられた昭和史の語り。



文化結社トカラ塾 第7回「南島学らいぶとーく」

安達明・八十余年の証言

講師＊安達明(元共産党活動員・会社社長)

会費

カンパ制 (任意、終了後懇親会あり)

日時

7月23日(土) 午後3時より

主催

文化結社トカラ塾



場所

ギャラリー GALA

世田谷区梅が丘 1-26-5-2F

(小田急線梅ヶ丘駅南口徒歩1分、<http://www.ap.to/~gala/>)

参加連絡

090-4713-1299 (稲垣一雄)

080-5085-2477 (橋爪太作)

info@tokarajuku.sakura.ne.jp

地図

